

水雷艇驅逐艇龍本邦へ回航
ニ関スル件

副官

（印）

（印）

年 月 日起案

發付

月 日

大臣 次官

軍務局長

（印）

造船課長

（印）

軍事課長

（印）

機關課長

（印）

兵器課長

經理局長

（印）

第一局長

水雷艇

回航

委員長

副官

自

軍務

局長

水雷艇

回航

委員長

訓示

件

皇紀三〇九四號

海軍

軍

洋 宣

訓示可然也 仰高裁可

但田航費豫算、別紙之旨、訓示トモ必要、際
際減リ要スルハ、素造費豫算内、於テ軍務ニ長
限、裁可然也

軍造第七八三號

海軍

水雷艇艦回航、関レテ、別紙ニ通リ、お心得
不却合ナキ様取計ヲヘレ
明治三十二年六月三十一日

事務局長

水雷艇艦回航事務局長官御下付

第一回航委負長ハ在英我公使ノ通牒ヲ受テ製造會社

ヨリ本艇ヲ領取シ本邦ノ回航スルヲトス

第二回航委負先發者本艇製造地ニ到着セタルトキハ造船兵監督長ニ協議シ本艇ノ回航ニ差支ナキ様準備ヲ為スヘシ

第三回航委負先發者ハ本艇ノ回航ニ差支ナキニ至ル期日ヲ豫定シ後發回航委員、差遣ヲ請求スヘシ

第四回後發回航委員本艇領取以前ニ到着セタルトキハ製造會社ニ協議シ工事ヲ妨ゲサル限り、人負ヲ乗艇セシムル様取計フヘシ

第五回本艇ノ工事監督ハ造船監督官及造船兵監督官ノ任務アリト雖モ、艦装向ニ関シ工事未済ノ虞ハ回航委員長

ニ於テモ其ノ工事ヲ監督スヘシ但工事監督ニ関シテハ造船
船造兵監督長ノ指揮ヲ受クヘシ

第六本艇ノ定備品測若及圖書ニシテ本艇ニ備付アルハ外

猶四艇ニ欽クヘカウサルモノ
需品測若圖書
定数表中ニモ
アルトキハ四艇委員

長ニ於テ軍務局長ノ認可ヲ受ケ英國ニ於テ購買スベシ

第七四艇ニ必要ナル兵器
消耗兵
器トモ定備品消耗品及海圖

等ニシテ本邦ヨリ携帶ヲ要スルハ四艇委員長ニ於テ取調

申出ワヘシ但後發四艇委員首席將校ヲシテ本支ノ中

出ラ為サレムルコトヲ得

第八前項ノ外四艇ニ必要ナル消耗品
消耗兵器
ヲ陸ヲ總テ四艇

委員長ニ於テ購買スベシ

第九四艇委員本艇製造地ニ到着シタルトキ及乗艇シタル

トキ并ニ委員長ニ於テ本艇ヲ領収シタルトキ其前速ニ電

(中略)

報スヘシ又英國出艇ノ期日ハ成ルヘク速ニ豫定シ電報ス

ヘシ

第十四艇委員長ハ回艇ノ事ニ関シ必要アリトキ豫算額
ノ範圍内ニ於テ英國内ヲ旅行シ又ハ委員及屬員ヲ英
國內ニ派遣スルコトヲ得

第十一回艇中臨時水夫若シクハ火夫ノ雇入ヲ要スルトキ豫算
額範圍内ヲ以テ回艇委員長ニ於テ便宜雇入ルコトヲ得

第十二回艇中ハ艇船費著報告列第七條ニ依リ本艇ノ費
用著ラ電報スヘシ

第十三回艇中石炭糧食飲料水等ヲ搭載スル為メ本艇ノ
寄泊スヘキ港灣ハ最近ノ航路ニ依リ之ヲ豫定シ英國出
艇前成ルヘク速ニ報告スヘシ

第十四本邦ノ回艇到著港ハ横須賀軍港ト定ム

第十五第十及第十一ノ場ニ於テハ其理由ヲ詳述シ報
告スヘシ
第十六回般費ハ別紙豫算ノ範圍内ヲ以テ支辨スヘシ

水雷艇 艀回航費 豫算

金貳萬五千四百六十四圓七拾錢

内

金貳千圓

各地出張旅費

金貳千七百五拾圓貳拾錢

航海加俸

金壹萬貳千圓

石炭費

金千八百圓

消耗齒費

金七百九拾壹圓五拾錢

引込運河税

金參百貳拾圓

水先案内及引船料

金千六百六拾圓

回航中燃料及修理費

金千五百八拾圓

外國人接待費

一萬

三

金貲千五百圓

因往運搬其他雜費

備考各地出張旅費、接待費、その他ノ費目ヨリ補充
ノ要ル場合ハ経例ノ上支出スヘシ

水雷艇回航中其官職權軍艦之長同様

大臣
次官



三十二年六月廿日起

事務



黒

六月廿日

發付

人事部長



軍務局長



主任課長



軍務課長



主任課長



上心得

得回航中軍艦之長カ制規ニ依リテ呈出スヘキ報
告書等ニ實際必要ト認メタルモノヲ除ク外適宜有

略スルコトヲ得

明治三十二年六月廿日

大臣

得回航委員長山田權之助

官場三十九號ニ於テ

別紙ニ通曉回航委員長山田權之助ハ訓令依

条ノ上心得

明治三十二年六月廿日

大臣

得回航委員

英國艦製造ノ水雷艇艦近々竣工付
 案
 官場三三三號

大臣

次官○



軍務局長



軍中隊長



主任課係



副官



三十一年七月六日起案

發付

七月六日

注 目

海軍、佐山田橋之助等、英國の海軍と
自航せしむるに付、なるに、海軍の
相度、此の如く、佐山田橋之助等、
英國の海軍と、なるに、海軍の

明治三十二年七月六日

大主

直ぐ、佐山田橋之助等、英國の海軍と、なるに、海軍の

三三三 持合案

薩摩、三三三、佐山田橋之助等、英國の海軍と、なるに、海軍の

明治三十二年七月六日

七月二十日

龍田才三号

国航之路沿岸各國在元我駐在公使

并鎮事訓令相成度上申

今般水雷艇龍田航就了豫定寄港地三托ケル

我駐在公使并鎮事より寄港節相成度上申

ヲ英ハ之ヲ肯照唐件訓令相成度此段上申

候也

明治三十二年七月六日

水雷艇龍田航委負長

山田猪之助

軍務局長海軍少将諸閣下之般

海

軍

龍田力四号

豫定航路市庫

水雷航龍英國より本邦へ回航豫定航路別紙
ノ通リ相定メ候存此段所届止矣也

明治三十二年七月六日

龍田航委負長 山田猪之助

軍務局長諸岡頼之殿

海軍

英法兩國領土記

所屬國

地名

英

Thames

"

Plymouth

佛

Brest

葡

Lisbon

英

Gibraltar

西

Cartagena

英

Malta

希

Athens

埃

Alexandria

"

Port Said

"

Suez

亞刺

Jiddat.

英

Aden.

"

Sakotora.

印

Bambay.

セイロソ島

Calamba.

馬六甲島

Penang.

安南

Saigon.

英

Hongkong.

日本

Keelung.

佐世保

主事



發付

十月六日

三十一年十月六日起案

大臣

次官



軍務局長



造船課長



案

英國中江口一帯社子製鐵、水雷艇驅逐艇

母

宣

洋軍

龍ハ昨由日勝ナク進水相済リテ電報
有シ不意可然日執奏事殿を以テ進也
明治三十二年十月六日

侍従長記
海軍大臣

供覽
濟

軍務局長

造船課長

機務課長

軍事課長

兵器課長

電報三十三年十月十日

軍務局長

備部
上村

昭和

臘公試運轉十月十四日施行の結果

平均速力三一・二七

後乗員何日頃出資七之ヤ

軍令部史

第一局

第二局

次長

第三局

海軍

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

Station <u>Kanagawa</u> Office No. <u>44</u> Received Time <u>9:25 am</u> Date <u>16/10/99</u> By <u>[Signature]</u>		Address <u>Inazuma</u> <u>Tokio</u>	
Class <u>P</u> Original Office <u>London</u> No. <u>7</u> Words <u>13</u> Date <u>15/10/99</u> Time <u>3 12 m</u>		Remarks <u>VE</u> 十月十五日	
Graciopelo treiratico rainuneulo milan^{ミラン}eza p^ポctamento^{ポクトメント} ar^アajar^{アジャ} 3/27 galladira^{ガッラディラ} ab^アst^{スト}onio^{オニオ} fine^{フィネ}ccido Kamimura			

1212

供覽
済

軍令部長所

軍務局長

造船部長

軍務部長

兵器部長

電報

三十一年十一月一日

海軍省宛

山田 寅次郎
電

臆 本日受領

第一課長

第一課長

第二課長

第二課長

第三課長

海軍

1213

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS (Delivery form)

Station <u>Kaidun</u>	Office No. <u>5</u>	Address <u>Japanese</u>
Received Time <u>9/4/99</u>	Date <u>2nd 11 99</u>	<u>Naval Department</u>
By <u>Kawaji</u>		<u>TOKIO</u>
Class <u>GP</u>	Original Office <u>Greenwich</u>	Remarks <u>Dia</u>
No. <u>22</u>	Words <u>75</u>	<u>Eastern</u>
Date <u>1st 25 99</u>	Time <u>7 5/4</u>	
<u>Oborokouji Tsujiro</u> <u>Kayamada</u>		

1214

軍務局長	造幣局長	機務局長	海軍
軍事課長	兵器課長		
電報	二十二年十一月十一日倫敦電		
海軍省	差出人 名ナシ	牒ナラシ	
十月六日後乗員到着セリ 十月十日軍艦旗揚	人事課長		
軍務部	第一局	第二局	第三局
次長			

426
1216

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS (Delivery form)

1216

Station: <i>Kaidun</i>	Office No: <i>22</i>	Address: <i>Kaigunsho</i>
Received Time: <i>10/43a</i>	Date: <i>12/12/99</i>	
By: <i>Kawai</i>		<i>Tokio</i>
Class: <i>8</i>	Original Office: <i>London</i>	Remarks: <i>ON</i>
No: <i>213</i>	Words: <i>8</i>	
Date: <i>11-12-99</i>	Time: <i>4.17h</i>	
<i>Replacere Kalladura</i> <i>atavio regozijo escaneas</i> <i>indecorado</i>		

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS. (Delivery Form)

Station Clevedon Office No. 42

ived 9 a Date 18-1890



Message

Address

*Maquieshoo
Takko*

Remarks

2-2

Class Original Office Office

局 第二課長 福永

Date 17-1890 Time 11:20 am

(栗並)



1217
1218

Shenando *recipiente* *Maquieshoo*



造船課



機関課

兵器課

一七ホーマス

一七ホーマス

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS. (Delivery Form)

Station Cebu Office No. 42

Received 9 a Date 10 1899

Message

Address

Marguerite

72 Hill

Remarks

9-8

Class Office Original to General

No. 10 Words 1

Date 17 1899 Time 11:20 a.m.

栗並

Sebastian discovered

receptive fragile

一 ニ 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

1217
1218

主事

三月五日 月七日起案

發付局

一月七日

大臣 次官



軍務局長



陸軍省



課係

案

官房第一號
英園六九一社
社務部製造部
水雷艇艇係艇係

母官

注 目

二月十四日、解纜中、邦人回航、
途、船中、電報、有、系、可、然、而、
執、考、有、成、を、付、以、道、也、
明治三十三年一月十七日。

海軍大臣
侍從長 宛



美因之
 第一七〇〇號
 製造し
 本邦へ向し
 西航中、
 水雷艇
 駆逐

大臣



軍務局長

造船課長



副官



参事官

年 月 日起案

交付
 月 日



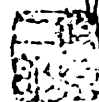
延勝本月ニテ、急事申上、港へ到着、
多條可也、秘奏、お分、お妙、及、山、
浪、ラ、ナ、ニ、中、リ、三、十、

海軍大臣
待從長官

造船課

寫

造船課長



電報

臘四月二十八日 神戸着

海

軍

7

(印)

1223

決裁濟人事課廻 

副官



發付

六月六日

三十二年六月十二日起案

大臣 權次官



軍務局長



軍事課長



主任課僚 

造船課長 

經理局長



第二課長



第一課長 

訓令案

英國に於て新造ノ水雷艇艦因航委委員附トレテ別表

官廳第三八三號

海軍省

海軍

下士年一選拔上來八月十日迄各本籍海兵團へ
入團せし其人数届出へし

明治三十二年六月十六日

海軍大臣

各籍海兵團司令長官

實録三三三訓令案

英國に於て新造ノ水雷艇艦回航委員隊下士年一選
拔方ノ儀ニ付別紙ノ通各籍海兵團司令長官へ及
訓令を以て條此旨心得へし

明治三十二年六月十日

海軍大臣

常備艦隊司令長官

臺灣總督

龍田航委員附下士彙配布表 横須賀鎮守府 吳鎮守府 佐世保鎮守府 計									
一等兵曹	。	。	。	。	。	。	。	。	。
二等兵曹	。	。	。	。	。	。	。	。	。
三等兵曹	二	。	。	。	。	。	。	二	一
一等機關曹	一	。	。	。	。	。	。	一	一
二等機關曹	。	一	一	一	一	一	一	二	一
三等機關曹	一	一	一	一	一	一	一	三	一
一等水兵	三	三	三	三	三	三	三	九	一
二等水兵	三	三	三	三	三	三	三	一〇	六
一等機關兵	二	二	二	二	二	二	二	八	一
二等機關兵	三	三	三	三	三	三	三	一八	一
一等看護	。	一	。	。	。	。	。	一	一

横須賀鎮守府 吳鎮守府 佐世保鎮守府 計	二等主厨 。 。 一 一	合計 一五 一五 一五 四五	一 常備艦隊司令長官及臺灣總督麾下之屬する艦船艇乗組其 他ノ下士卒ニシテ第一項第三項ニ適合スル者アルトキハ常備 艦隊司令長官及臺灣總督ト協議シテ上選抜スヘシ	二 本表ノ人員ハ身体太モ強壯且ツ水雷艇ニ経験アルモノニシテ 可成志願ノ者ヨリ選抜スヘシ	三 本表ノ人員ヲ選抜スルニハ本邦ハ内航中現役満期トナルキ者 ヲ除ク再服役者ハ且ツ常備朝後支々モ一ケ年ハ服役スルキ者ヨリ 選抜スヘシ (本邦解署ハ三十三年三月ノ豫定)	四 本邦記載ノ各官職等級ノ者ヲ得ル能ハサルトキハ各其ノ 下級者ヲ以テ補フコトヲ得
------------------------------------	---	---	---	--	---	---

横領第三二八八號ノ十七

海軍大臣

海軍大臣

龍田航委員附選後御居

官房第二八三號達ニ基キ水雷艇龍

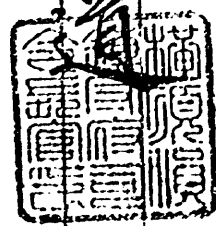
田航委員附下士卒別紙ノ通選抜上

横須賀海兵團ハ入團セシメ候條此段及

市居候也

明治三十二年八月十九日

横須賀鎮守府長官男爵相浦也



海軍大臣山本權兵衛殿

海軍

同	海軍一等機関兵	同	同	海軍二等水兵	同	同	海軍一等水兵	海軍三等機関兵曹	同	海軍一等機関兵曹	海軍三等兵曹
山口 徳三郎	山岡 寅之助	安藤 幸四郎	窪田 松五郎	穴戸 博	藤原 藤吉	山本 三治郎	松本 久助	荒木 亀吉	前田 新五郎	若林 佐吉	藤野 末吉

海軍二等機関兵
同
同
計十五人
鈴木藤吉

阿部常吉
長田知義
筆松芳太郎

横領並三八八號ノ二十



大正十二年

龍曲航委委員附異動御届

日表横領第三三八號ノ十七ツ以テ御届致

置目水雷艇龍曲航委委員附下士辛申

左記通異動相生美付此般及御届美也

明治三十二年八月廿三日

横領鎮守府司令長官男爵相浦邦通



海軍大臣山本權兵衛殿

左ノ一名ヲ删除ス

海軍二等機関兵笠松芳太郎

左ノ一名ヲ追加ス

海軍二等機関兵鈴木藤吉

海軍

英領第三三八二號ノ一〇

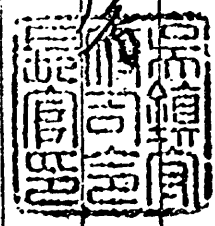
肅回航委負附下士卒選拔入團御前

本年官房第ニ八三ノ英國ノ新造ノ水雷艇肅
回航委負附下士卒選拔方御達ニ基キ別紙之通リ選
拔名入團セシメ候條此致及御前

明治三十二年八月二十一日

英領守付司令長官里奇井上氏

海軍大臣山本權兵衛殿



海軍

附下士年選授一名

二等兵書

二華校閱兵場

三才棧陰兵夢

一 葶水 兵 藤田廣太郎

同

同

二等水兵 寺岡次衛

同

同

一 等機關兵

同
中
民
族

井上國吉

松本安松

小野 曜

田坂春太郎

清
水
松
平

富山莊

西村伊之助

湯野津勝次

酒井三太郎

佐水傳次

增田平集

二等城關兵

同

同

藤井實光

一等看護

計十五名

朝比奈仙左郎

城市伊左門

和田金介

吉田長次郎

1234

海軍

吳鎮第二三八二號十三

御届

朧回航左負附下士卒選拔人名ノ儀吳鎮第二三八二號ノナリ以テ異動ノ生シ候ニ付此段御届置候處左記ノ通り

明治三十二年八月二十八日

吳鎮守府司令長官男爵井上良

海軍大臣 本權兵衛殿

二等水兵

西村伊之助

左委負附ヲ免ス

二等水兵

寺岡次衛

左委負附ヲ命ス

海軍

興鎮第三三八二號十九

回航委員通し
九月十日

航回航委員附異動古備

八月二十日付興鎮第三三八二號ノナリ以下ノ位置候

航回航委員附下士卒選抜お人名年左記ノ通り

異動ノ生レ此段御仕候也

明治三十二年九月十四日

興鎮守府司令長官男爵井上良馨



海軍大臣山本權兵衛殿

二等機関兵 和田金介

左委員附ヲ免ス

二等機関兵 藤井寶藏

左委員附ヲ命ス

海軍

文録第二三八二號

奉

國府委員 齋 九月十八日

奉

國府委員 齋 九月十八日

國府委員 齋 九月十八日

明治三十二年九月十五日

海軍大臣 山本權兵衛 殿

免毒負附

同

命毒負附

同

一等水兵 田坂春太郎

海軍

軍務局

佐鎮第三二八號ノ十二



佐鎮第三二八號ノ十二

却
下

本年六月十六日官房第二八八三号却幸
基中腕回航委員下士平別紙之用
監板大世海兵衛ノ入團濟止改却
士更也

明治三十二年八月二十二日

佐鎮守府司令官東郷平八郎

海軍大臣山本權兵衛殿



追々軍艦濟素一等小呂宋井福五郎ハ便宜上横須
賀海兵衛ノ及入團セシノ更条為念申更也

海
軍

航 空 員 附 属 校 人 名

海軍	一等兵曹	中田	言左門
〆	二等機関兵曹	菊屋	清次郎
〆	三等機関兵曹	野崎	典兵衛
〆	一等水兵	長瀬	力次郎
〆	〆	宇都宮	周作
〆	〆	菅井	福五郎
〆	二等水兵	小高	松太郎
〆	〆	有山	五平
〆	〆	永井	伏一
〆	〆	有働	五蔵
〆	一等機関兵	岩城	徳松
〆	〆	久尾	竜太郎

今

等主厨

也
因

元

岩崎

木材
土

鮑家院

青
平

佐鎮 三三八號ノ一五

回航委員附異動、新、付部、由

客月廿二日佐鎮第二三八号、一二腕回航委

員附下士平橋板即属中左記、南、里

動、美、条、此、改、即、南、里、也

明治三十二年九月一日

佐世保鎮守府司令長官東郷平八郎



海軍大佐山本權兵衛殿

一等水兵長溝ノ吉

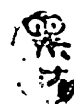
休養病免狀回航委員附

勝國航季負付リ余ス

等小共西村太治郎

至急

副官
半事



發行

八月廿日

三十二年八月十二日起索

大臣V次官



軍務局長



軍事課長



主任課長



造船課長



經理局長



第二課長



指令
電信

佐藤第二八七ノ三上

艦回航委員附

海軍



1243

海軍

下士等一損須賀人海兵團へ假入團ノ件認許
又但し朝日電報社航委委員附下士等一假入團
ノ儀ハ其時期ニ至リ更ニ上申スヘシ

明治三十二年八月十日

海軍大臣

佐世保鎮守府司令長官

軍務局

依錄第二八七一號ノ二

軍務課



陸軍省

訓令 基
 朝日 腕 亮 今 本府在籍者中
 須 附 近 腕 亮 今 本府在籍者中
 度 右 腕 亮 今 本府在籍者中
 此 度 右 腕 亮 今 本府在籍者中
 明 三十二年 月 七日

海軍大臣山本權兵衛殿



近々本件差懸居所を有し其片電報より附信令相仰度

官廳三六〇號

海

軍

至急

訓官

訓官

訓官

九月十二日

三十二年九月五日起

大臣次官

軍務局長

軍事課長

主任課長

造船課長

第一課長

第二課長

總理局長

訓令案

水雷艇艦回航委員附トシテ英海軍上海兵團ハ

皇第4014號

海軍

團ノ下支平一ヲ本内十五日ヨリ同十七日迄一閣ノ東京
 外海軍大本部内同委員附下支平屯在所
 へ入所セシムルハ但之同委員附下支平ノ人事ハ
 海兵團長團ノヨリ同國航委員ヲ之ヲ取扱
 ハシハ條條此ノ心得下

詔 治 三 十 二 年 九 月 十 二 日

海軍大臣

老 鎮 守 殿 司 令 長 官

老 鎮 守 殿 司 令 長 官

軍部録



海軍省 第一〇五號

明治三十二年九月十二日海軍大臣稟議

水雷艇龍回航委員附下士平英國出張件認可

明治三十二年九月十四日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋



内閣

至急

事務官

（印）

（印）

（印）

發付

九月十二日

三十一年九月 日起案

軍務局長

（印）

軍務局長

（印）

主任課長

（印）

大臣✓次官

造船課長

（印）

第二課長

（印）

第一課長

（印）

（印）

（印）

第四〇二〇號

水務課所出紙書付下士等

案

毎頁

海軍

英國、出張ノ年

英國、新造ノ水雷艦本邦、
西航、自同西航委員附下士率、
五谷、英國出張ノ年、度、以、係、認、
可、相、成、度、係、也、

明治三十二年九月十二日

海軍大臣

内閣総理大臣

聯普弟二八號

聯回航員一行出登御届

十月十日午前八時三十分新橋停車場より
乗車今日正午横濱出船ノ丹波丸ニテ出タ
渡英候係此迄及御届矣也

明治三十二年十月六日

聯回航委員海軍大尉鎌田政猷

軍務局長海軍少將諸岡頼之殿

海軍

軍務局長



軍務課長



主任課長



造船課長



電信

臘後發員八十二月上旬其地到着ノ筈

明治三十二年九月八日

軍務局長

造船兵監督長

軍務

^{月能} ^{後祭} ^{十二月}
Terciopelo galladura quentura
^{其地} ^到 ^第
discantar atavernar engasgado

消
 目

山口県

1253



造船課長



海

價

理事課長



電報

廿二年九月五日午後七時五分癸

軍務局誌

松永少將

臘トシノ後ノ癸ノ亥ノ十一月上旬到著ノ又ハキノ様ノ派遣アリ

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

Station <u>Kaiyuan</u> Office No. <u>8</u> Received Time <u>10:20 am</u> Date <u>19 9/18</u> By _____		Address <u>Nazuma</u> <u>Hokio</u>
Class <u>8</u> Original Office <u>London Club</u> No. <u>3</u> Words <u>9</u> Date <u>19 9/18</u> Time <u>7.50</u> m		Remarks
<i>mercipelo galladura quingosta</i> <i>atavernar prematuro agnus</i> <i>Matsunaga</i>		

1255

左舷三番(1) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

孔及び四呎十吋十分の一、計六十一呎

(2) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

徑三十一呎一分の一

右舷三番(1) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

幅九呎一分の一

(2) 下り中三列右舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

徑三十一呎一分の一

(3) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

5/8ノ螺絲ナット

(4) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

徑三十一呎一分の一

(5) 下り中三列右舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

三輪船系、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

(1) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

(2) 下り中三列右舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

(3) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

(4) 下り中三列右舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

(5) 下り中三列左舷より中十一番、前部より五呎八吋十分の一、後部より五呎八吋十分の一、計六十一呎

左舷後部、右舷後部、計六十一呎

右舷後部、左舷後部、計六十一呎

本船は、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

は、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

船體、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

船體、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

船體、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

船體、左舷後部、右舷後部、計六十一呎

